

ヤマアジサイ

(ユキノシタ科)

ししおど 鹿威しの響く日本庭園奥の最深部“ヤマアジサイの里”では、あふれんばかりのヤマアジサイが谷を埋め尽くして咲いております。

2015年6月13日

通巻第238号

ハナショウブ&アジサイまつり
6/6(土)~28(日)の土日

モリアオガエルの卵塊

らんかい 日本庭園フジ棚近くのカエデの枝に、夜産み付けられた泡に包まれた卵塊を観察することができます。

バラ園

四季咲き大輪(HT)や房咲き中輪(F)がまだまだ見頃です。また、瀬戸内海の広がる南側を臨むと、宮島もご覧いただけます。

サボテン温室

ウチワサボテン類の大きな花が開花中。5年ぶりに花茎を伸ばし咲きそうな、ダシリリオンのつぼみにも注目です。

バナラ (ラン科)

花後に伸びる鞘や種子から、醗酵等の加工を経てバナラ香料が採れる植物としてよく知られています。花色は緑色で完全には開かず、花の寿命は短命な蔓性植物で、メキシコ、中央アメリカ原産のランの一種です。

ウシノシタ (イワタバコ科)

一生を一枚の葉だけで過ごす植物で、その姿は正に牛の舌！只今青花を付けた花茎を伸ばし開花中。花が咲くまで一年以上かかりますが、種が実ると枯れる一稔性植物。大温室入口ロビーにて展示中。

ハナショウブ (アヤメ科)

今年は開花が非常に早くなっています。江戸、伊勢、肥後系の品種に加え、江戸時代から残っている貴重な品種である菅翁花の、現存する20品種の内、17品種を含む約100品種のコレクションは必見です！！

ザクロ (ザクロ科)

こちらは実を観賞・収穫するのではなく、花を楽しむ“花ザクロ”の一品種で、ピンク色八重咲花。

ヤマボウシ (ミズキ科)

白く花卉に見えるのは、苞葉で先がとがります。仲間のハナミズキがへこむのと同対照的です。屋外展示場前には常緑ヤマボウシのホンコンエンシスを植栽しており、こちらはヤマボウシより脹よかな苞！？

香りのする球根ベゴニア

花に香りがほとんどない球根ベゴニアですが、こちらに展示しているのは。。。ぜひ、御一見ならぬ御一嗅を！？

ログガーデン

バラは一部花後の剪定をしましたが、株元のサルビアの仲間やカモミール等の下草が森のカフェ前に彩りを添えています。

